



一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)
2017.12.11

第2回「ロケ撮影環境改善に係る官民連絡会議」 ロケ撮影に関する ATP アンケート調査について

【申請関係】

- ・撮影の許可申請で最も困るのは「その区域が、どの部署の監督下にあるのか」が不明で、たらい回しに合う事です。全ての問合せ窓口を一本化して頂けると申請手続きの効率化に繋がるのではないのでしょうか。さらには、申請書類の Web 決裁なども検討いただきたい。

【道路関係】

- ・警察庁など監督官庁の意向や通達が所轄警察署など現場窓口レベルまで反映されていないとスムーズなロケの許可申請は難しいと思います。警察庁から各県警本部へロケに協力するような通達を出しているのであれば、現場窓口レベルでもその通達を共有していただきたい。
- ・地域によって異なりますが、道路許可申請など許可がおりるまでに一週間以上かかる時があり、もう少し早く許可がおりる事を希望します。
- ・警察署によりますが、許可条件が統一されていないように思われます。
- ・道路許可申請の手数料の値下げを希望します。

【公園、建物関係】

- ・都内の公立公園は夜間の撮影が許可されないケースが多く、結果的に遊歩道など道路使用許可で対応できる場所での夜間ロケを行う場合が多くあります。大型の公園や施設内での撮影であれば、夜間の人の出入りも減るので、近隣住民に迷惑をかけることなく撮影が出来るのではないのでしょうか。
- ・区役所・市役所への公園許可条件が厳しいように思われます。
- ・稼働率の低い施設、都営住宅や空き家など、活用出来ていない施設の積極的な開放を検討いただきたい。
- ・公共施設の中には、利用頻度が低い施設もありますが、前例が無いなどを理由に使用許可が下りないケースがあるので、積極的な活用の道を開いていただきたい。
- ・行政関係の建物（特に外景）を撮影用に借用できる体制をスムーズにより簡素化していただきたい。
- ・東京都と他県との許可条件があまりにも格差があるように思います。

【その他】

- ・東京ロケーションボックスなど各自治体で撮影におけるサービス体制が確立しつつありますが、より一層の充実により細分化したフォローがあると助かります。
- ・地方ロケでのドローンの使用申請の対応が市町村により、其々異なる為、全国的な統一を図っていただきたい。
- ・行政がすでに制作している映像の二次使用を簡易に許可していただきたい。
- ・各行政の制作した映像の一覧が見られるサイトの構築をお願いしたい。
- ・制作費が削減傾向にある昨今、ロケ等の PR 効果を認めてもらえるなら、費用の支援をお願いできると助かります。官民連絡会議のレジュメによれば、そうした支援も検討しているとの事ですが、はっきり目に見える形で標榜いただきたい。